

# 令和3年度の相談・救済活動の実績について

令和3年度は、948人の方から、のべ2,886件の相談が寄せられました。

## 令和3年度 相談内容 上位3項目

相談内容の中身を細かく見てみると...

### 子どもから (1,504件)

- ①友人関係 (253件)**
  - 友達から嫌がらせを受けている
  - 仲間外れにされてしまった
- ②精神不安 (197件)**
  - 将来が心配になる
  - コロナにかからないか不安..
- ③親子・兄弟関係 (186件)**
  - 親がきつく叱ってくるので怖い
  - 親が話を聞いてくれない

### 大人から (1,382件)

- ①子どもと教師の関係 (169件)**
  - 子どもが先生を怖がっている
  - 学校の対応に疑問がある
- ②不登校 (142件)**
  - 子どもが学校に行きたがらない
  - 家での過ごしませ方がわからない
- ③親子・兄弟関係 (104件)**
  - 子どもが約束を守ってくれない
  - きょうだいゲンカが激しい

## 相談事例の紹介

※プライバシー保護のため、事例は加工して掲載しています。



子どもが勉強のストレス、プレッシャーで体調を崩し、学校に行けなくなった。

お子さんを交えて、親子面談を行いました。話を聞いていると、非常に責任感の強いお子さんであると感じました。また、お子さん自身が頑張れないことを責めている様子があったため、**ゆっくり休養をとることや身近なリラックス法**をアドバイスしながら、お話を傾聴し、学校や病院に相談することを提案していきましました。はじめは抵抗感があったようですが、徐々にお母さんと協力をして相談や受診をし、少しずつ回復していくことができました。



## 調整活動について

相談だけで解決に至らない場合などは、必要に応じて、学校などの関係機関に対して事実確認を行ったり、子どもの気持ちを伝えるなど「調整活動」を行うこともできます。子どもの最善の利益のもと問題解決に向けて一緒に考えます。

## 調整活動事例の紹介

※プライバシー保護のため、事例は加工して掲載しています。



子どもが担任を怖がり、学校に行きたがらない。

親子面談で話を聞いていくと、**家庭と学校間で十分な話し合いがされていない**と感じました。調査員が学校を訪問し、校長、教頭と面談したところ、家庭と学校との間に誤解が生じていることがわかったため、学校へ親子の意向を伝え、互いに情報共有を行っていきこととしました。その後、学校で定期的に面談が行われるようになり、少しずつ家庭と学校との関係性が築かれていきました。次第に本人の恐怖心がなくなり、登校を再開することが出来ました。



# 札幌市子どもの権利救済機関 子どもアシストセンター

札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階  
※駐車場はありません

- 地下鉄東西線「大通駅」より徒歩5分
- 地下鉄東豊線「大通駅」より徒歩3分
- 地下鉄南北線「大通駅」より徒歩6分
- JR「札幌駅」より徒歩14分
- 北海道中央バスターミナルより徒歩2分

